

デクパージュ（ショット割）作成の手引き

デクパージュとは、システムティックにショットごとの映像と音を記述するものである。映像・音の全てを完全に言語に置き換えることは不可能であるが、デクパージュは、普通に観ただけでは気づかないような形式上の要素とパターンを浮かび上がらせるので、作品の分析に役立つ。

記述すべき事項

ショット番号

【映像】

ショット・スケール：ecu, cu, mcu, ms など

前のショットとの関係：アクションの一致、視線の一致など必要に応じて

カメラの動き：左パン、チルト・アップなど（固定の場合は記述の要なし）

カメラのアングル：ハイアングル、ローアングル（レベルは記述の要なし）

ミザンセーヌ：人物の動き・方向（フレーム・イン、フレーム・アウトなどのフレームとの関係）、事物の動き・方向、背景との位置関係（前景、後景、ゾーンなど）、照明、衣装など、必要に応じてできるだけ詳述

ショット長さ：長さ・短さが目立つ場合に時間を表示

その他：

【音声】

音の種類：言葉、音楽、ノイズなど

音源：ds (diegetic 物語世界内)、nds (non-diegetic 物語世界外)、on-s (on screen), off-s (off

screen)、誰の、または何の音声か

ダイアログ：

前後のショットとの関係：

その他：

【その他】

モチーフ（繰り返される要素）にはなんらかの印を付けると役立つ